

私は 2004 年(平成 16 年)に建設コンサルタントである現在の勤務先に入社し、入社 1 年目は道路設計、2 年目から現在に至るまでは構造物設計の部署で橋梁、擁壁、ボックスカルバートなど、主に道路構造物の設計を行ってきました。

入社 1 年目から奥尻島を周回する路線の道路改良工事に関わる業務に携わっており、最初は流量計算の流域図作成から、この路線との関わりが始まりました。その後、改良工事区間に数橋ある橋梁の設計業務や災害対応業務、打ち合わせのため来島していた際にちょうど発生した落石対応業務などを担当し、現在も設計した橋梁の三者検討会や、工事に関する打ち合わせなどで、入社以来毎年、年に数回は奥尻を訪れています。

この改良工事は海岸沿いにある現道の一部を山側に移す計画で、計画路線付近には貴重な植物や猛禽類のとまり木などもあり、道路、自然環境、地質、構造物等、様々な分野の担当者数名で協力しながら設計をしています。元々この路線の計画に携わっていた担当者の何人かは部署異動などで入れ替わっており、気づけば社内でこの路線に最も長く携わった担当者の一人となっていました。技術士試験の経験論文テーマに奥尻の橋梁設計を選んだこともあり、私の技術者人生は奥尻と共にあると言っても過言でないくらい、奥尻には思い入れがあります。また、この路線の仕事を通じ、様々な分野を跨いだ道路計画に関わることで、総合的な視野を培うことが出来たと感じています。

この路線に関わり始め 10 年以上経過していますが、工事の完成後も含め、長い付き合いになることは間違いなさそうです。路線が開通したあかつきには、是非奥尻まで足を運びたいと思っています。

## 亀海 貴寛(かめが い たかひろ)

●建設部門(鋼構造及び  
コンクリート・土質及び基礎)

### 勤務先

株式会社シー・イー・サービス



→次号は、齋藤裕俊さん(総監、建設部門)

食品(専門)と知的財産情報ビジネス活用の分野で支援を行う技術士事務所を運営させて頂いております中谷と申します。現在、このエンジニアパークを執筆させて頂いている 8 月現在で、事務所創業ほぼ 2 年を迎えました。「食品の技術士です。」と自己紹介をしますと、驚かれることがあります。技術士全体から見ると少数の部類に入るため、そのような反応となると思いますが、しっかりと存在し、食品技術のパイオニアとして様々な食の現場で活躍しています。食品技術士にご興味がありましたら、日本技術士会登録グループの「食品技術士センター」のホームページ(<https://jafpec.com/>)を覗いてみて下さい。そして、もう一つの支援分野である「知的財産情報ビジネス活用」についてです。よく「知財」との略称で呼ばれますが、知財と聞いて何を思い浮かべるでしょうか。多くの方は「特許」を思い浮かべると思います。ですが特許は知財の中の一つです。皆様もよくご存じの「商標」、「意匠」や書籍、論文等の「著作物」(著作権)なども知財に含まれます。特許も含め様々な知財の情報量は膨大な量で、いわゆるビッグデータであるといえます。この情報の中から必要かつ有用な情報を引き出し、分析し活用することにより、ビジネスを効率的で有利に推進していくお手伝いをさせて頂いております。このような手法は、最近では「IP ランドスケープ」と呼ばれ、大手企業を中心に、事業戦略活動に活用されています。事業戦略や経営戦略の策定にはまず対象、目的する事業分野の特徴や特性をよく知らなければ、有効な「手立て」を立案することはできません。このような手法を中小企業やスタートアップ企業にも活用できるよう支援をしています。

## 中谷 明浩(なかたに あきひろ)

●農業部門(農業・食品)

### 勤務先

中谷技術士事務所



→次号は、高橋正裕さん(生物工学部門)